

●工事状況

遠州のからっ風が吹き、未だ寒い季節です。工事は1階床のコンクリート打設を完了し、本格的に上部躯体工事に差し掛かってきました。清水建設独自の工法のHy-Ecos工法を用いて2階からの躯体工事が進行中です。2階から最上階まで、これから繰返し同じ工程を進めるサイクル工程という段階に入っていきますが、先月号の定点写真と比較していただければ目に見えて工事のスピードが上がっていることがお分かりいただけると思います。より一層ダイナミックに進んでいく当現場に、これからも御注目いただければ幸いです。

定点写真



●壁の向こうは・・・？（工事紹介）

今回紹介させていただくのは上記のHy-Ecos工法です。上記の通り、清水建設の独自工法であり、RC（鉄筋コンクリート）造とS（鉄骨）造の良いとこ取りをしたコストメリットも良い工法です。

Hy-Ecos工法はRC造の柱とS造の梁を力学的に合理的に組み合わせた工法であり、RC造の高い剛性（頑丈さ）をもちながらも、通常のRC造に比べ大スパン架構を可能とした点に特徴があります。大スパン架構とすることで、柱の少ない空間が実現でき、室内レイアウトの自由度が高く、病院のような複雑な建物に適した構造形式といえます。

RCとSの良いとこ取り！「Hy-Ecos工法」



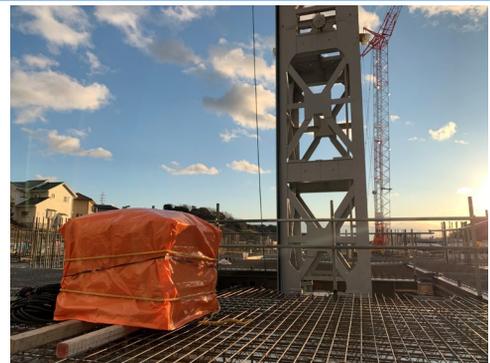
●工程

	令和3年度		工事進捗率
	2月	3月	
躯体工事	小梁工事・1, 2階柱・2階大梁地組・スラブ工事	小梁工事・2, 3階柱・2, 3階大梁地組・スラブ工事	14.6%
仕上工事	ピット左官工事	ピット左官工事・ウレタン吹付	
設備工事	外構工事・スリーブ工事	外構工事・スリーブ工事・免震層設備工事	

●コラム《洗濯物がよく乾く！？遠州のからっ風》

この浜松の地には冬から春にかけて「遠州のからっ風」と呼ばれる風が吹きます。浜松では砂丘の風紋の形成に寄与するなど、なじみのある風かと思えます。洗濯物もよく乾くとのこと。一方建設現場では風は注意深く向き合う必要のある気象条件です。「クレーン揚重作業時、吊荷が揺れて危ない！」「資材が風で飛んで現場の外に出てしまう！」。そういった危険を無くす為に、吊荷に介錯ロープと呼ばれる誘導ロープを付けて安全誘導を行ったり、資材にシートを掛けて固定し養生するなど、様々な対策を講じています。

このような細かな配慮が現場の無事故無災害に繋がります。これからは安全作業でものづくりと向き合って参ります。



2階床上での資材の風散養生